

情報連絡員報告総括表(令和2年6月分)

三重県中小企業団体中央会  
 連絡員総数 40名  
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 (臨時・パートを含む)			業界景況		
	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化
製 造 業	食 料 品			4	2	2		4			3	1			4		1	3		1	3		4				4
	織 維 工 業			3		2	1	3			2	1			3		1	2		1	2		3				3
	木 材 ・ 木 製 品			1			1		1			1			1			1			1		1				1
	紙 ・ 紙 加 工 品			2		1	1	1	1		2				2	1	1				2		2				2
	印 刷			1		1		1				1			1			1			1		1				1
	化 学 ・ ゴ ム																										
	窯 業 ・ 土 石 製 品			3	1	2		3			3				1	2		2	1		2	1		3			3
	鉄 鋼 ・ 金 属			1			1	1			1				1			1				1		1			1
	一 般 機 器			3	1	1	1	2	1		2	1			3			3			3		1	2			3
	電 気 機 器			1		1			1		1				1			1			1		1				1
	輸 送 機 器			1			1	1			1				1			1			1			1			1
そ の 他																											
小 計			20	4	10	6		16	4		15	5		2	18	1	6	13		4	16		17	3			20
非 製 造 業	卸 売 業			2		1	1		2		2			2		2							2				2
	小 売 業	1	1	4		4	2	1	5		5	1		2	4		2	4					5	1		2	4
	商 店 街			1			1	1			1			1			1							1			1
	サ ー ビ ス 業		2	3				4	1		4	1		2	3		2	3					3	2		2	3
	建 設 業	1	2	1				4		1	3		1	3		1	3						4		1	3	
	運 輸 業		1						1			1			1			1					1				1
	そ の 他			1					1		1				1		1						1				1
小 計	2	6	12		5	4	2	15	3	1	15	4	1	7	12	1	10	9				16	4	1	7	12	
合 計	2	6	32	4	15	10	2	31	7	1	30	9	1	9	30	2	16	22		4	16		33	7	1	7	32

## 最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(令和元年6月～令和2年6月)

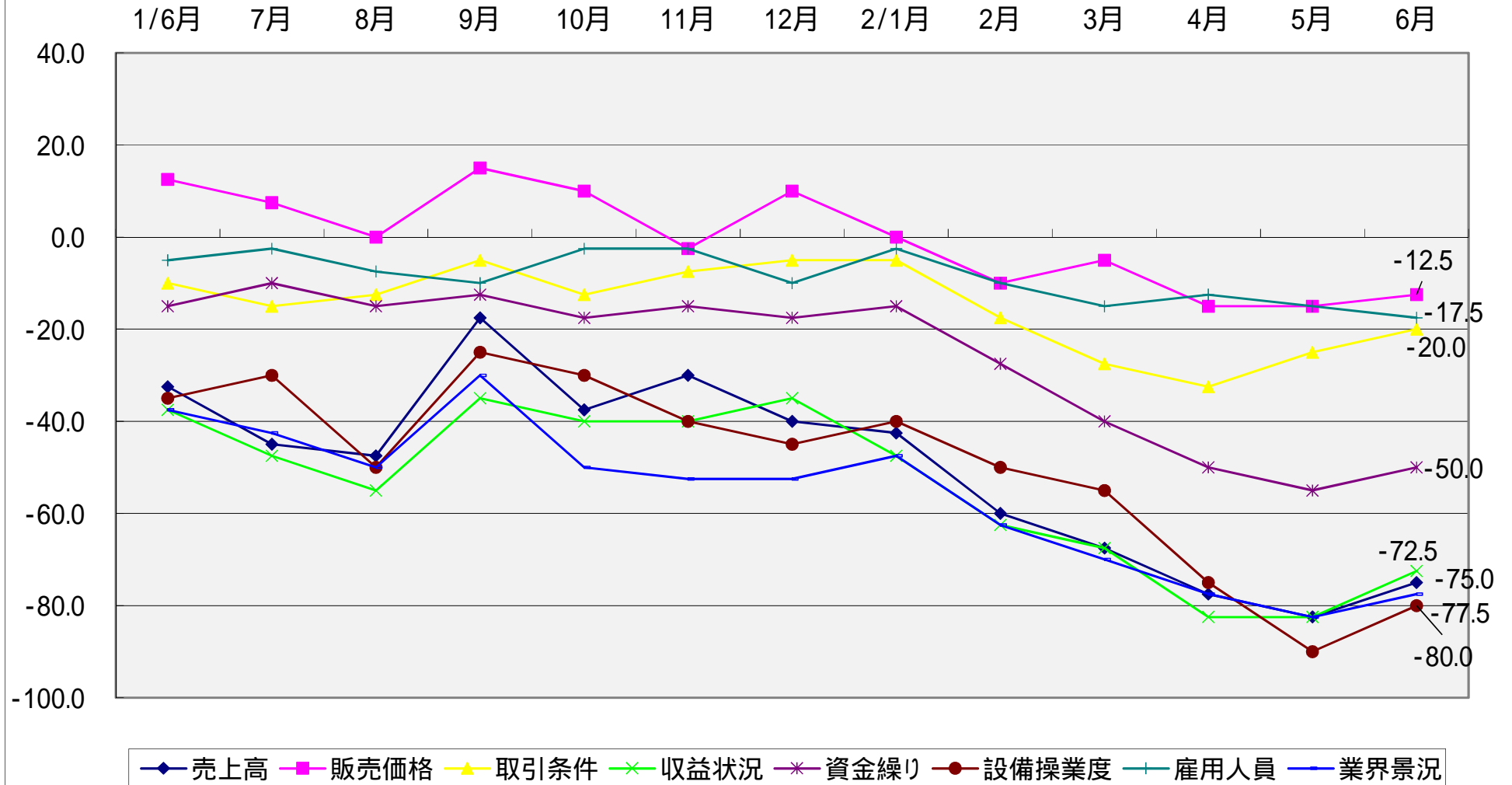
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	1/6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2/1月	2月	3月	4月	5月	6月	増減
売上高	-32.5	-45.0	-47.5	-17.5	-37.5	-30.0	-40.0	-42.5	-60.0	-67.5	-77.5	-82.5	-75.0	7.5
販売価格	12.5	7.5	0.0	15.0	10.0	-2.5	10.0	0.0	-10.0	-5.0	-15.0	-15.0	-12.5	2.5
取引条件	-10.0	-15.0	-12.5	-5.0	-12.5	-7.5	-5.0	-5.0	-17.5	-27.5	-32.5	-25.0	-20.0	5.0
収益状況	-37.5	-47.5	-55.0	-35.0	-40.0	-40.0	-35.0	-47.5	-62.5	-67.5	-82.5	-82.5	-72.5	10.0
資金繰り	-15.0	-10.0	-15.0	-12.5	-17.5	-15.0	-17.5	-15.0	-27.5	-40.0	-50.0	-55.0	-50.0	5.0
設備操業度	-35.0	-30.0	-50.0	-25.0	-30.0	-40.0	-45.0	-40.0	-50.0	-55.0	-75.0	-90.0	-80.0	10.0
雇用人員	-5.0	-2.5	-7.5	-10.0	-2.5	-2.5	-10.0	-2.5	-10.0	-15.0	-12.5	-15.0	-17.5	-2.5
業界景況	-37.5	-42.5	-50.0	-30.0	-50.0	-52.5	-52.5	-47.5	-62.5	-70.0	-77.5	-82.5	-77.5	5.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	原料となる野菜生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、漬物業者自らの原料野菜の生産や県外からの原料野菜の確保を進めている。今年は和歌山県において梅生産が大幅に減少しており、梅価格が3倍に高騰しているため、県内における梅干し生産に影響が出ている。コロナウイルスにかかわる外出自粛の影響により、道の駅、土産物店等でお土産物の漬物の販売が大きく減少している。外国人技能実習評価試験を7月ないし8月上旬に予定しており、三重県からは2社5名が受験を予定している。
	醤油味噌	6月も引き続き不況である。特に業務用のウエイトが高いところは減少が大きい。家庭用が少し良くては追いつかない。5月よりは少しずつ回復してきているようだが、まだまだ見通しは厳しい。小学校への"しょうゆもの知り博士"の出前授業も申し込みがなく、開催できずに閉店休業状態である。
	豆腐	コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除になり、学校給食への納品は再開したが、外食産業への納品は、コロナウイルス発生以前に比べるとまだまだの状況である。
	製麺	6月度は先日各組合員より報告があり、観光関連は県をまたいでの移動が緩和されて、5割から6割位は戻ってきた。飲食店関係も8割近く戻ってきている。徐々に回復はしているが、元通りにならない。新しい売り方、販売チャンネルの見直しをして、インターネット販売の取り組みが必要不可欠であると思う。伊勢うどんの商品力向上に向けて、より一層精進を重ねていく必要があると思う。
繊維工業	組紐	前月以上に悪化。9月以後の動向に期待。
	衣料縫製	大変厳しい状況である。
紙・紙加工品	紙器段ボール	全体に荷動きが悪い状況が続いている。比較的、例年並みの出荷を維持していた飲料、食品関係も生産が調整気味でマイナスに転じている。そういう業界をユーザーにしている会員企業は前年同月対比で5~10%位マイナスである。自動車関係、電器関係もほんの少し復調傾向だが減産量が多い。自動車関係をメインにユーザーを持つ会員企業は、前年同月対比で50%のマイナスとなっている。
	古紙	6月期の古紙仕入量は：段ボール・約96±6%、新聞、チラシ・約82±7%、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約90±8%の模様。コロナ禍の巣ごもり片づけの発生も済み、集団回収の中止も多々発生している。紙・板紙どちらの製紙会社も販売予測から大幅減産の様である。新聞は減ページや発行部数の減、チラシが更に半以下となっている様で、雑誌も携帯端末アプリと国民の収入減等により紙の消費は激減。しかしながら一部の出版社は黒字体質に移りつつある様である。回収の仕事は政令指定都市のコンビニ等と市町村の薬局等で段ボールの発生量が大きく異なる様で組合員の古紙在庫も雑誌・雑がみのみの様である。中国の廃棄物再生原料の輸入規制は、来年からゼロになるとの情報なので、更なる経営体質改善が必要である。コロナ禍で資金は借りやすくなったが、返済時期以降には繰返し更に上乗せで国民全体に付けが来ると予測される。四日市の古紙持ち去り拠点の一部が閉鎖となり少し回収量が戻ってきた様だが、未だに無くならない。古紙の無料回収場所のゴミの不法投棄は、近所では捨てずに離れた排出場所に捨てる傾向もあり広域的な例も散見される。厳罰が必要である。
印刷	印刷	最も厳しかった新聞の折込チラシは僅かながら回復傾向ではあるが、どの業種も昨年の需要に比べ大幅な減少が続いている。
窯業・土石製品	伊賀焼	6月には県外移動の自粛が解除されたが、未だにイベント、催し物等の中止が続いているため、売上が低迷している。また陶芸教室についても申込がない状態であり、厳しい状況は変わっていない。
鉄鋼・金属	鍍金	当業界の6月度の生産額は5月とほぼ同様であった。自動車関連部品は5月より若干落ちたものの7月より少し戻るとの観測があるが元の状態まで戻るのはまだまだ先になりそうである。半導体製造装置部品は前月並みに伸び、それに伴う人員確保は他のラインでの人員削減部分を移動させ対応しているが、次世代型通信の5G、6Gと発展することで、人員確保が課題となりそう。
一般機器	四日市	コロナの感染から、経済活動の低迷は今から深刻な事態を迎える。6月の日銀短観でも景気底ばいの恐れを警告して、自動車下請受注も急減している。組合員の中でも影響をうけている。
	津市	6月は取引先の何社かは毎週金曜日が休業となり、その影響で売上も約30%減となった。当社も取引先に合わせて6、7月の金曜日を休業する事とした。自動車部品については大きく落ち込んだが、家電関係の落ち込みはわずかである。雇用調整助成金も5社中3社が申請中であり、売上が戻るのは9月以降でないかと思われる。
	伊勢	緊急事態宣言が解除されたが、企業の活動や消費行動はまだ制限された状況である。6月は前月から改善ともいわれるがその実感はない。
電気機器	鳥羽	受発注が大幅にダウン。雇用調整助成金を申請し雇用状況を守っている段階である。
輸送機器	鈴鹿	当組合の通常総会を開催したが、年度末の落ち込みが大きくどこも良くない決算であり、今期に関してもかなり厳しい見方が多かった。取引先の今後の景況観を聞くと、日本の自動車業界はアメリカに大きく影響を受けるため、コロナ禍におけるアメリカの動向に注視しているとのことであった。

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	青果	野菜前半：今年の大梅は全般的に入荷も少なく、高値で早く品切れの見込み。安かったじゃがいもの値上がりが続く。人参も関東産地で生育が遅れ入荷が少ない。トマトは今の時期、夜の気温が下がって甘みが増し値段もお買い得。長野産レタスの入荷が増え、値下がりがしている。野菜後半：きゅうり、トマトは値上がり、高値が続いていたともろこしは値下がりがしてきた。キャベツ、レタス、ブロッコリーの価格は落ちついている。果物前半：島根産デラウェアの出荷がピーク、美味で手取りやすい値段である。愛知産ハウスみかんもやや安い。熊本産のメロンが終わりがけて肥後グリーンメロンは甘く値段もお手頃になった。果物後半：愛知産大玉スイカが出荷ピークで特に甘く食感も良い。さくらんぼは山形の佐藤錦が終盤で、北海道産に切り替わり、山梨産ハウスシャインマスカットの入荷も始まる。
	自転車	最大の年中行事の春需は、この度のコロナ禍によって見事に打ち砕かれた。自粛解除となったが、失ったものが戻るものではない。どうにか仕入れは順調になってきているが、なかなか販売台数ははかばかしくない。梅雨が明ければ自転車シーズンである。少なくとも点検・整備のお客が増えるはずである。ましてや一朝有事の時に自転車の有用性は世界中で再確認されたはずである。
	小売業	新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響が残り、電気店様のお客様への活動は慎重な対応が続いている。ただ6月単月の販売は好調に推移。しかし4~6月の累計では、前年割れの状況。各メーカーの提案は、メーカー主催の合同展示会の提案から個展に切り替わり、前年以上に多くの店の個展実施が見込まれた。結果、エアコンを中心に夏物商品が好調に推移し、販売好調の一因となる。新型コロナ関連の空気清浄機等は、メーカーにより格差はあるが、品切れ・品薄の状況が続いている。この状況は今後もしばらく続く感がある。
	石油	6月の中東原油価格は安いながらも40\$台で落ち着いているが店頭看板価格は、じりじりと上昇している。新型コロナウイルスの感染防止による外出控えや他府県間の移動自粛が解除されたが、以前のガソリン等の消費回復には至っていない。以前の消費に戻るには相当の時間がかかると考える。また、伊勢・鳥羽方面の観光ホテル等の乗客の戻りも期待できない中、政府のGoToキャンペーンや市県の行政による観光助成を起爆剤とした燃料消費に大きく期待するところである。
	スポーツ	コロナ禍のため、ほとんどの組合員の方が2ヶ月程休業していた。学校も小中高とも休みで外資に行けず、ただただ休んでいたようである。やっと6月の初旬より学校が再開し、納品を止められていたクラブ備品が動き始めたようである。ただ今期、春の売り出しはどれも全くダメで補助金の申請に走っていたようである。
商店街	熊野市	新型コロナウイルスの影響は引き続き、売上や集客に響いており、特に観光に携わっている事業者にとっては益々厳しい状況である。夏のイベント等についてもほとんどが中止になっており、先行きを不安視する事業者も多数あり、今後の行政の対策が急務である。
サービス業	旅館	5月は県下ほとんどの宿泊施設は休業していて6月に入ってから営業再開はしたものの、集客はなかなか伸びず、休業中の方が経費が少なくて済む。しかし雇用、対外的な関係等を考慮すれば、いつまでも休業している事も出来ず、GOTOキャンペーンの早期実現が待たれるところであるが、県、市、町での支援メニューに乗って、辛抱強く運営していく事が必要である。
	測量	仕事柄、新型コロナウイルス感染の可能性は少なく作業には影響なし。例年並みで現状維持である。
	警備	新型コロナウイルスによるイベント中止等により、受注が減少した。また公共・民間の受注も少なく、各社とも苦慮しているところである。
建設業	内装工事業	6月は対前年同月比で比較すると大幅な増加となった。7月以降新型コロナウイルスの影響が出てきてもおかしくない状況であるが、今のところ影響は出ていない。今後、どうなるか不明である。
	水道工事業 (亀山)	特になし。
運輸業	トラック	燃料価格は先月に続き上昇となった。また新型コロナウイルス感染症による経済への影響は製造業以外の非製造業にも深刻な影を落としており、運輸業においては全体の91%程にマイナスの影響が出ている。

## 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	8月度は全企業の伊勢うどん(きしめん)の試食を開催し、自社企業の立ち位置を知っていただければと思う。
紙・紙加工品	古紙	感染症対策の努力はしつつも中小零細企業で新型コロナウイルス感染症が発生した場合、事業の継続性が即座に危機的な状況に陥ることが想定される。消毒等の努力はしつつも、もし現実起きた場合に何とか乗り切れるようなガイドラインがあれば良いと思う。
一般機器	四日市	政府はどのような改善策をしているのか。全く先が見えない。給付金をもっと増やしてもらいたい。
	伊勢	技能実習3号終了時の試験(随時2級)を三重県で受験できるように働きかけてもらいたい。
サービス業	旅館	再開後は個人客が徐々に戻ってきている。お客様の声は「出てきて良かった。」「リフレッシュできた。」といった事を言われてお帰りになる。このような"ストレス発散"、"リフレッシュ"効果を宣伝して、"自粛"の風潮が払拭される事を期待する。
	測量	各社に緩やかな成長をと呼びかけているが、思うようにいっていない。